



## 県教連の皆様とともに

岩手県教育研究所連盟 会長 村上 弘

(岩手県立総合教育センター所長)

師走の候、岩手県教育研究所連盟の皆様におかれましては、本年度の事業推進にご尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

県教育研究所連盟は、今年度発足 66 年目を迎え、これまで県内各地の教育研究機関が連携を密にし、教育に関する調査・研究を充実させ、本県教育の推進、向上に寄与することを目的として活動して参りました。

10月の研修会では、放送大学教授 中川 一史先生を講師としてお招きし、「デジタル教科書の活用促進～国の動向や活用の在り方等について～」と題してオンラインによるご講演を頂きました。GIGAスクール構想等を背景に、デジタル教科書の特徴や効果的な利用について具体的な例を交えながらご教示頂きました。

来る2月からは、岩手県教育研究発表会を開催いたします。今回も各教育研究所及び市町村教委

から多くの発表があります。各所からの発表が、本県教育の充実と発展に繋がりますことを期待しております。今年度は、2月9日(木)、10日(金)に集合型及びライブ型で開催し、その模様は2月17日(金)から3月2日(木)にかけてオンデマンド配信でもご覧いただけます。加盟機関の皆様のご参加をお待ちしております。

A I等の先端技術が高度化して社会に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつあります。子供たち一人一人に社会の担い手として必要な資質・能力を確実に育てていくためにも、教育の専門機関として当連盟各研究所の役割は更に重要になってくるものと存じます。研究所相互のますますの連携を図りながら、岩手の教育の推進、向上のために、ともに力を尽くして参りましょう。よろしく願いいたします。

### 令和4年度定期総会・研究協議会の報告

令和4年5月13日(金)、令和4年度岩手県教育研究所連盟定期総会並びに研究協議会を、ライブ型で開催いたしました。

総会では、昨年度の事業報告及び決算報告を行い、今年度の役員案、所員研修会、岩手県教育研究発表会等の事業、予算案を承認いただきました。承認いただいた令和4年度の役員は右のとおりです。また、研究協議会では2つのグループに分かれて「ICT活用と授業改善」をテーマとして活発な意見交換が行われました。

会長	村上 弘	総合教育センター 所長
理事	村紀 修	盛岡市教育研究所 所長
	及川 仁	花巻市教育研究所 所長
	平賀 英和	北上市教育研究所 所長
	杉本 光生	総合教育センター 研修部長
監事	侘美 淳	紫波町教育研究所 所長
	小山田 孝	矢巾町教育研究所 所長
事務局	総合教育センター 企画担当	
	瀬谷 圭太	主任研修指導主事
	及川 智春	主任研修指導主事
	菊池 貴彦	主任研修指導主事
	阿部 尚史	研修指導主事
	関向 真介	研修指導主事
	村木 真由	主事

## ■ 令和4年度東北・北海道地区教育センター協議会 ■

### ■ 令和4年度東北地区教育研究所連盟総会・教育研究発表大会 ■

令和4年10月20日(木)～21(金)、青森県総合学校教育センター会場にて開催されました。センター協議会では、管理運営及び研究研修協議会、及び共通研究主題による研修会が行われました。学習指導分科会では、岩手県立総合教育センターの田口一茂研修指導主事が「問題解決の過程において児童及び教師が情報を適切に活用し理科の学習の充実を図ることに関する実践」と題して話題提供を行いました。東北教連教育研究発表会では、教科、教科外、情報教育の3分科会で発表が行われました。両会合には、本県から総合教育センター所長以下6名のほか、盛岡市教育研究所からの参加もありました。

#### 【 管理運営協議会・研究研修協議会協議題 】 (本県提案分)

- コロナ禍での、教育センターにおける研修形態について
- 教員免許状更新制の発展的解消に伴う新たな教員研修システムの構築と教育センターの役割

#### 【 共通研究主題 】

- 学習指導「問題解決の過程において児童及び教師が情報を適切に活用し理科の学習の充実を図ることに関する実践」 (岩手県)
- 生徒指導「適応指導の現状と対応～『こころの教育相談センター』の運営を通して～」 (青森県)
- 情報教育「教育の情報化の推進に向けた1人1台端末活用の在り方～新しい文房具として日常的に活用することを通して～」 (福島県)

#### 【 教育研究発表テーマ 】

- 教科「子どもが資質・能力を活用・発揮できる授業づくりに役立つアイデアの提案」 (秋田県)  
「小学校英語教育に係る学校ニーズへの対応」 (山形県)
- 教科外「実践的指導力習得期にある教員育成のための校内研修プランの提案」 (秋田県)  
「学校に行きにくい生徒を組織的に支援するための取組－高等学校のニーズと専門研究の成果を踏まえた学校単位型不登校支援研修会を通して－」 (宮城県)
- 情報教育「みやぎの情報教育推進に向けて－リーダー教員養成研修の視点から－」 (宮城県)  
「山形県の学校ICT環境における児童生徒の学び」 (山形県)

## ■ 令和4年度全国教育研究所連盟研究協議会 ■

令和4年10月28日(金)、札幌市教育センター主管のもと、オンライン開催されました。北海道立教育研究所副所長から「『令和の日本型学校教育』実現に向けた学校と教職員への支援の在り方」と題した基調提案が行われた後、独立行政法人教職員支援機構理事長 荒瀬 克己 先生をお招きし、「子どもを主語にする学校をつくるために」と題する基調講演が行われました。午後からは2つの分科会に分かれ、計4つの提言発表、及びグループ協議が行われました。岩手県立総合教育センターの太田崇主任研修指導主事が「ICTを活用した学習活動の充実に関する研究」と題して提言発表しました。本県からは、総合教育センターの3名が参加しました。

#### 【 提言発表・グループ協議テーマ 】

《 分科会A 全ての子どもたちの可能性を引き出す教育活動を促すための学校と教職員への支援の在り方 》

- 児童生徒へのチームによる支援の在り方に関する調査研究－日常的・継続的な支援につながるエピソードプロセスの開発と実践－ (富山県)
- 夢の実現に向けて能動的に学び続ける児童生徒の育成－資質・能力の育成につなぐ教育課程の評価と改善－ (熊本県)

《 分科会B 教師の学びと実践を促すための学校と教職員への支援の在り方 》

- ICTを活用した学習活動の充実に関する研究－教員のICT活用指導力の充実に資する実践事例集の作成を通して－ (岩手県)
- 研修での学びが直ちに現場実践に結び付く研修事業を目指して (北海道)

■ 令和 4 年度岩手県教育研究所連盟研修会 ■

〔目的〕 文部科学省が令和 6 年度からの本格的な導入を目指しているデジタル教科書について、これまでの経緯や国の動向、デジタル教科書の効果について学び、各研究所における研究推進及び県内教職員の授業改善等に生かす。

〔日時〕 令和 4 年 10 月 3 日（月）13:00～15:00

〔演題〕 デジタル教科書の活用促進～国の動向や活用の在り方等について～

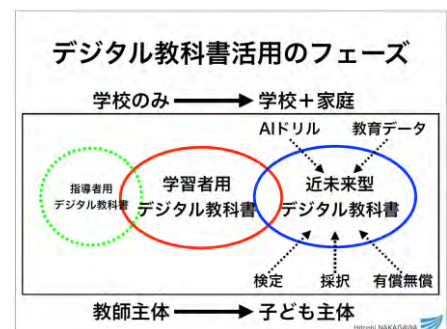
〔講師〕 放送大学 教授 中川 一史 先生

デジタル教科書についての国の動きと実際の活用方法の両面からお話いただきました。

(1) デジタル教科書の国の動きや現状について

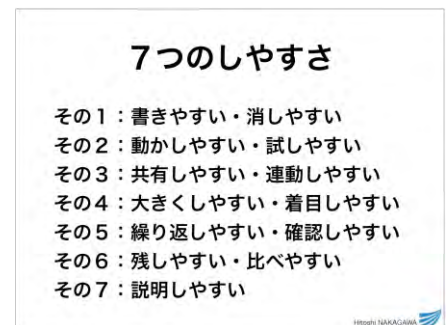
2021 年の中央教育審議会「令和の日本型学校教育」構築を目指してのなかで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていくことが掲げられている。そして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」に ICT は寄与し、ICT を効果的に活用することにより、学習効果が生まれることが期待される。しかしながら、ICT を効果的に活用するためには、日常的に活用することが大切である。ICT 活用効果は、時間を x 軸、効果を y 軸としたとき  $y = x^2$  の関係であると考えられる。最初から活用効果が見られる学校はなく、導入された当初は教師に効果の実感がわからないものの、機器の操作や共同ツールなどに慣れてくると急激に効果が現れてくる傾向にある。

現在の学習用デジタル教科書は成長段階にあり、完成されたデジタル教科書ではない。現在は指導者用デジタル教科書から学習者用デジタル教科書に移行しつつある状況で、将来的には AI ドリルや教育データも含んだ近未来型デジタル教科書になっていくと考えられる。2019 年 4 月 1 日からデジタル教科書が制度化されているが、学習者用デジタル教科書の整備率は 6.2%（令和 3 年 3 月 1 日現在）である。なお、学習者用デジタル教科書は市町村の教育委員会が負担している。また、学習者用デジタル教科書を普及していくためには、まずはネットワーク関係等の環境整備が重要である。



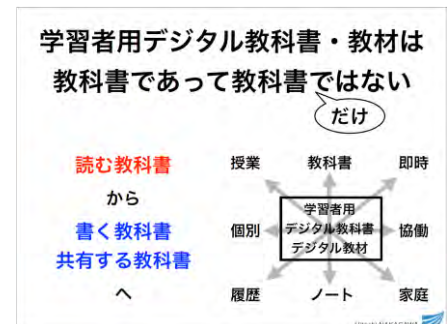
(2) デジタル教科書を活用した学習方法の例

デジタル教科書では①拡大②書き込み③保存④機械音声読み上げ⑤背景・文字色の変更・反転⑥ルビふりができる。さらに、他のデジタル教材や ICT 機械等を組み合わせて使用することで朗読、動画・アニメ、ドリル・ワークシート、大型提示装置による表示、ネットワークでの共有も可能になる。国語、社会、算数・数学、理科、外国語、特別支援教育の教科を例にして映像を交えながらデジタル教科書活用のメリットや実践的な活用例を示した。まとめると、デジタル教科書には、右図のとおり 7 つのしやすさがある。とくに、1 と 3 は効果が大きい。すぐ消せるからたくさん書く。そして何度も消しては書く。それによって自分の思考を可視化できるようになっていく。



(3) 今後の見通し

令和 6 年は、デジタル教科書の本格的な導入の最初の契機とみられている。デジタル教科書は教科書であって教科書だけではない。読む教科書から書く教科書へ、共有する教科書へ、教える教科書から学ぶ教科書へとデジタル教科書は進化していく。これからは、子どもにゆだね、子ども自身が自分の差配で学んでいく時代がやってくる。





**令和 4 年度（第 66 回）岩手県教育研究発表会**

令和 5 年 2 月 9 日（木）から 3 月 2 日（木）の期間で、岩手県教育研究発表会を開催します。今年度は集合型、ライブ型、オンデマンド型の 3 つの実施形態を組み合わせた発表会となります。メインテーマ「新しい時代に必要な資質・能力の確実な育成を目指して」、サブテーマを「～ICT を活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現～」と設定し、全体会として講演会等を行うほか、教科・領域等に関わる分科会を設置します。多くの方の御参加をお待ちしております。

**2 月 9 日（木） 花巻温泉ホテル千秋閣**

【全体会】＜集合型及びライブ型＞

（講演会）

演題：新しい時代に必要な資質・能力の確実な育成を目指して  
～ICT を活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現～

講師：東京学芸大学 ICT センター 教授 森本 康彦 氏

（いわての学びの改革プロジェクト研究発表）

令和 2 年 9 月から 7 つの研究協力校において取り組まれてきた実践の成果を発表します。

- ・盛岡市立飯岡小学校
- ・盛岡市立飯岡中学校
- ・一戸町立一戸小学校
- ・一戸町立一戸中学校
- ・盛岡第三高等学校
- ・花巻北高等学校
- ・水沢高等学校

【企画展】＜集合型＞

教職大学院展

**2 月 10 日（金） 岩手県立総合教育センター 岩手県立生涯学習推進センター**

【特設分科会】＜集合型及びライブ型＞

※特別の教科道徳は花巻温泉ホテル花巻

- 1 学力向上
- 2 カリキュラム・マネジメント
- 3 生徒指導

【分科会】＜集合型及びライブ型(一部集合型のみ)＞

国語 社会／地理歴史・公民 算数／数学 理科 音楽 図画工作／美術 家庭／技術・家庭  
体育／保健体育 外国語活動／外国語 総合的な学習（探求）の時間／生活科 特別の教科 道徳  
情報教育／工業 キャリア教育 学校マネジメント 幼児教育／幼小接続 教育相談  
特別支援教育 いわての復興教育「いきる・かかわる・そなえる」

【企画展】

学校紹介写真展＜集合型及びWeb掲載＞ 学生科学賞入賞作品展・理科教材展＜集合型＞  
教材展〔特別支援教育〕＜オンデマンド型＞ 学校公開資料展＜オンデマンド型及びWeb掲載＞

**2 月 17 日（金）～3 月 2 日（木）＜オンデマンド型視聴期間＞**

【全体会】【特設分科会】【分科会】 ※一部分科会を除く

- ・集合型：発表者と参加者が同じ会場に集合して行う、従来の型
- ・ライブ型：オンライン環境で、参加者がリアルタイムで講演・発表を視聴する型
- ・オンデマンド型：オンライン環境で、事前録画した映像を視聴期間内に随時視聴する型

※正式な開催案内及び参加申込方法の詳細は、総合教育センターWeb ページに掲載しております。

総合教育センターWeb ページURL：<http://www1.iwate-ed.jp/>

**総合教育センターをご活用ください**

総合教育センターでは、要請研修、随時研修、どようび研修など様々なニーズに対応しています。詳細については各担当までお問い合わせください。

**企画担当 0198-27-2833**

教育図書・資料の収集・提供、カリキュラム・マネジメント、いわての復興教育に関する内容

**教科領域教育担当 0198-27-2735**

幼児教育から小学校・中学校・高等学校の教科・領域等の指導に関する内容

**理科教育担当 0198-27-2742**

小学校・中学校・高等学校の理科の指導に関する内容

**情報・産業教育担当 0198-27-2254**

情報教育、視聴覚教育、技術・家庭科、高校専門教育に関する内容

**教育支援相談担当 0198-27-2821**

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における個別又は集団の教育支援に関する内容

センターWeb ページでは、教育研究、学習指導案、研修講座関連資料等各種教育情報を提供していますので、こちらをご覧ください。